

細江カトリック教会だより

10月号

〒750-0016 下関市細江町1-9-15

☎083-222-2294

☎083-222-0970

ホームページ <http://hosoechurch.sakura.ne.jp>

猛暑が去って、秋めいてきたかと思う間もなく、日本列島はすさまじい台風の来襲に、驚きを越えて恐怖を感じる日々を過ごしました。9月末には、強力な台風24号が列島を襲い、今また、25号の来襲が気になります。7月の記録的な豪雨の時も、下関の地が大きな被害を免れたことを感謝しなければなりません。自然災害が起きる度に、被災者の方々の苦しみに思いを致すとともに、変わる事のない方への信仰を一層深める機会といたしましょう。

9月に入って教会がお祝いした「敬老の祝福」(9月16日)には、30名を超す高齢者の方々が聖堂の前席を占め、ミサ後の茶話会では、お一人お一人のお年を感じさせない元気な自己紹介に、心打たれました。わたし自身もお仲間に入れていただき、年を重ねることの喜びを共にいたしました。

翌、17日には「広島教区の日」が岡山教会で開催され、下関を代表して参加しました。懐かしい方々の姿に接することができましたが、下関はいささか遠く、信徒の方々の参加がなかったのが残念でした。ミサに先だって、川村信三神父の講演がありましたが、禁教令下にはいかに信徒たちが信仰を守り、継承してきたか、また、明治になってから、日本の教会がどのような歩

みを通

って現在にいたっているか、考え祈る材料をたくさんいただきました。

9月に入って目を通した本で、皆さまに紹介したいものがあります。『なぜクリスチャンになるの—その意義は何か』、『なぜ教会に行くの—パンと葡萄酒のドラマ』の2冊です。いずれも、来日経験のある元ドミニコ会総長ティモシ・ラドクリフ師の本で、先年日本語に翻訳され、それぞれ、教文館、聖公会出版から出版されたものです。

分厚い本で細かい内容は紹介できませんが、題からして、読んでみたくなる内容ではないでしょうか。

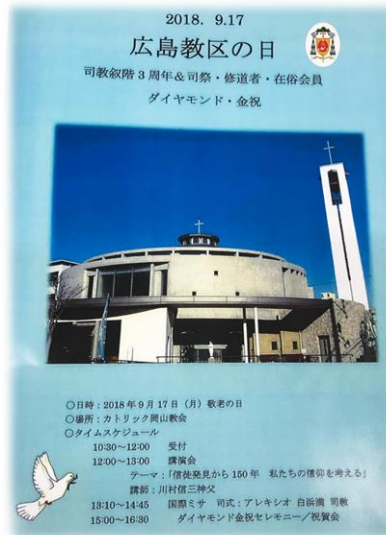
幼稚園の運動会が10月6日(土)に予定されています。台風25号の来襲で、当日の実施が危ぶまれています。園児たちは当日に向けて連日練習を重ねています。幼稚園との数少ない触れ合いの機会です。時間のある方は、

是非、お立ち寄りください。お手伝いをいただく方には、ご苦労様ですが、よろしく願いいたします。

ペトロ祭が10月28日(日)ミサ後に行われます。バザーや軽食をいただきながら、お互いの交流を深め、さらには、地域の方々と親交を交わす機会となれば幸いです。

作道 宗三 神父

*挿絵は広島教区の日の式次第表紙
(岡山教会)



地区だより VI

本町地区

私は1947年生まれ、71歳です。第二次世界大戦の終結から2年後に生まれ、復員ベイビーと呼ばれました。小学校に入学した時は、一学級62人。高等学校に進学する頃は、高校も大学も新設ラッシュでした。そういう団魂の世代の私たちが、いよいよ人生の終盤を迎えます。

都会では、他界しても入れる墓地がなくなるのではと心配され、合同葬が流行しています。

わたくしも、まだまだ元気で生きるつもりですが、マリア様の下に行く準備もしなければなりません。

そういう団魂の私たちが、教会の様々な活動の第一線でチャレンジできているのは大変ありがたいことです。

しかし、これも後10年か15年で、次の世代にバトンタッチとなるでしょう。その節は、どちら様もどうぞよろしくお願いいたします。

今年のテーマは「教会へのチャレンジ」。どちら様もお気張りいただければ幸いです。

マリア・テレジア
柳沢 佳枝



社会教説 9/9 (日)

Over the Wall～

喜びなさい、大いに喜びなさい



中井神父による社会教説学習会が9月9日、細江教会で行われた。前任者の社会教説は何度か参加したが、昨年予定が合わなかったため、初の参加となった。中井神父の語りをじっくり聞くのは何年ぶり・・・なのかもしれない。歳を省みず演壇を縦横無尽に動き回る前任者と違って、比較的小となしく話が始まった。しかし、教皇のメッセージの強さもあるのだろうが、中井神父の語る言葉には以前の様な遠慮というか悪く言えば自信の無さは微塵も感じられず、下関で、アメリカで、韓国で、そして沖縄を始め各地を飛び回りながら身にしみた深みが感じられる教説だった。

教皇が「底辺」に寄り添う姿「羊のにおいのする牧者」として、他にこの度沖縄の司教に就任されたウェイン司教のこと、北九州のホームレス支援「抱樸」の奥田知志牧師とシールズを率いた愛基くんのエピソードを例に挙げ、傷と傷が重なり合ってキズナが生まれ、貧しく、弱く、苦しんでいる人々を包み込むことができることを説いてくださった。

教皇フランシスコの掲げる四大原則の中で理解し辛いのが「時は空間に勝る」であるが、例えば世の権力者は空

間支配することに躍起となることを考えると、「時」を「過程」を大切にす
る神の国との対比で解りやすい。そして強大な「暗闇」を前にした時「沈黙
は弱さではなく、恵み」という考えを教皇は説くが、正直、弱い自分には厳
しい教えで、つつい怒り等の感情のままに言動をとってしまうことを何度も
経験しているの、実践は困難と感じている。

さて、タイトルに挙げた「壁」を乗り越える、打ち破る、って話は何に絡
めて出て来たのか、フランシスコ教皇の一番有名な教え「外へ出て行きな
さい」に絡めてでしたっけ？ すっかり失念してしまいましたが、質疑応答も含
めて印象的だった。自分は、友人が様々な想いの詰まった世界各地の壁に美
しい花や人々を描き、壁を愛しいモノに変えて行く取り組みを紹介し、シス
ター山本や他の方が小さな穴を開ける事、回り道をしてでも避けて通る事、
など話してくれた。確かに外へ出て行く事は容易ではない。でも「たくさん
の人で心をいっぱいにする」それこそ物理的にではないが、最も重要な「外
へ出て行く」ことだと感じ、そして中井神父のことを前任者の「壁」は打
ち破ってはいないが、ひょっとして別の道で既に向こう側にたどり着いて
いる、そう親心的に感じたひと時だった。

大城 研司



* 壁を作っている?? 社会のこと、聞く

耳を持たなければ・・・と思う。

敬老祝福と茶話会 9/16 (日)

今年も9月16日に敬老会が行われました。77歳以上の方、約130名に案内を送りました。

中には、施設に入っておられる方もいらして皆さんの様子を知ることができました。

今年は祭壇の前がいっぱいになる程、多くの方が出席して下さって、とても盛り上がりました。

お手伝いをしている私たちも敬老会の参加資格を得る年には、きっと同じ様に元気で出席しているだろうという安心感と喜びをいただきました。

今年の敬老会は36名の参加でしたが、来年は、もっと多くの方の出席を期待しています。

『皆さん、元気で楽しく過ごしましょ
うね!』

ご協力ありがとうございました。

中川 恭子



* 祝福を受ける 77 歳以上の皆さま。
神さまの恵みを注がれて・・・。



* 作道神父さまと共にされ、会話が弾む

茶話会。

ご案内**『福音を伝える使命』研修会**

10月13日(土)

10:30~14:30

山口天使幼稚園

*今年度の広島教区のテーマは「教会へのチャレンジ・福音を伝える使命」です。

「福音を伝える」という課題に取り組むためにともに学び、教会の活性化に取り組みたいという思いで、開催されます。

どうぞ、ご参加ください!

午前中の講師は肥塚地区長さま
午後は防府教会の朴神父さま。

お聞き逃しなきように……

**11月・12月の行事と典礼歴**

- * 11月 1日(木) 諸聖人
- * 11月 2日(金) 死者の日
- * 11月 3日(土) 10:00
合同慰霊祭(長府教会)
- * 11月 4日(日) 宣教司牧評議会
- * 11月 9日(金)
ラテラン教会の献堂
- * 11月 11日(日) 七五三祝福
- * 11月 13日(火) 19:00
下関協働体委員会
- * 11月 18日(日) ~ 25日(日)
聖書週間
- * 11月 25日(日) 王であるキリスト
- * 12月 1日(土) 14:00~
クリスマスチャリティコンサート
- * 12月 9日(日) 待降節黙想会

**編集後記**

先日のこと、東日本大震災を体験した釜石の牧師さんと東京の司祭との記事が新聞に掲載されていました。

「2人でも3人でも、信ずる仲間が集うのが、神のお造りなつた教会です」と、話された牧師。

「壁のない教会」……これこそキリストが祈りを捧げた原点の場所だと、司祭の思い。

文章にひきつけられて「そうそう」とうなずきながら、隣の人に呼びかける。

心とこころの壁、人と人の壁、国と国との壁、壁を超えることの困難さ。日常と社会生活の中ではと、そんなことを考えながら、9月9日に行われた中井神父さまによる社会教説のお話を思い返す。(K)

朝日新聞「でんでんこ」より

**ペトロ祭**

10月28日(日)

12:00~14:30

- * **ペトロ祭**……信仰と親交を深める日。
楽しい一時を共に過ごしましょう。
ご協力をお願いします!
(お手伝いのできる方は申し出てください)

催し物

- ・パウロ書院売店(聖書・書籍・DVD・手帖・ロザリオ・メダイ・カレンダー・聖書等)
- ・お楽しみ抽選会 ・食品販売
- ・うどん、焼き鳥、喫茶、チヂミ
- ・遊休品販売・子どもゲームコーナー
- *当日の駐車は4,5台分で、高齢者用・障害者用しか駐車できません。その他の方々は近隣の駐車場をご利用ください。